

研究協力をお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

なお、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：切除企図膵癌に対する術前治療に関する検討

1. 研究対象者および研究対象期間

2020年1月から2030年3月までに岐阜県総合医療センター、岐阜大学医学部附属病院、岐阜市民病院で切除企図膵癌に対して術前治療または術前胆道ドレナージを行った患者様

2. 研究目的・方法

切除企図膵癌に対する術前治療は、腫瘍縮小や微小転移抑制を通じてR0切除率や長期予後の改善が期待され、標準的治療戦略として広く導入されている。また、膵頭部癌では閉塞性黄疸のため術前胆道ドレナージ（PBD）が必要となることが多く、PBDの有無については、術前治療の継続可否、感染リスク、治療効果、術後合併症に影響する可能性がある。本研究では、切除企図膵癌に対して術前治療が施行された症例を対象に、治療反応性、手術結果、術後経過に加え、術前胆道ドレナージの有無・方法・偶発症が治療継続性および予後に与える影響を後方視的に解析する。これにより安全で効果的な治療戦略構築に寄与することを目的とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢・性別・胆道ドレナージの成績、腫瘍マーカー、血清アルブミン値、

末梢血液一般検査、術前治療の有害事象、手術成績、病理結果、術後経過

主要評価項目：膵癌術前化学療法における全生存期間およびそれに関わる因子

副次評価項目：膵癌術前化学療法における有用性・安全性、膵癌術前胆道ドレナージにおける有用性・安全性

4. 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

岐阜県総合医療センター 消化器内科 市川 広直

電話番号:058-246-1111